

草の根 通信

VOLUME

119

Kusanone Tsushin

[2024年6月発行]

和歌山



和歌山大会
開催間近 /

Coming soon...

Wakayama

特集

寄稿「ジョン・ハウランド：男と船と」 マシュー・C・ペリー氏

- ・日米草の根交流サミット紹介 & 和歌山大会参加者募集活動
@第62回 さくら祭り - ジャパニーズ・ストリート・フェスティバル IN ワシントンD.C.
- ・Asian American and Pacific Islander Heritage(AAPI月間) とは
- ・万次郎関連団体情報
- ・2025年度 日米草の根交流サミット開催地決定
- ・オハイオ大会参加者の声

ジョン・ハウランド：男と船と

John Howland: The Man and The Ship

文：マシュー C. ペリー氏 訳：轟木^{ひろ}洋子氏

和歌山大会開催まで間近。恒例の地球儀交換儀式に集まる中濱家とホイットフィールド家の方々はもちろん、今年はいり提督子孫の一族も集まります。4代目子孫として2009年のみやぎ大会から参加し、マットの愛称で親しまれているマシュー C. ペリー氏はペリー家のことは元より、ペリー提督が関わった歴史を熱心に研究しており、サミット大会でも様々なシーンで紹介しています。

今回は万次郎を救出したジョン・ハウランド号とその由来の紹介です。

ほとんどの日本の方々は、1840年代にアメリカで教育を受けた若者、万次郎の名前をご存じです。アメリカ人の中にも万次郎を知っている人もいることでしょう。彼らはまた、無人島に漂流した万次郎らを救助した船長の名前がウィリアム・ホイットフィールドだったという知識もお持ちかもしれません。そして、もしこの2人の名前をご存じなら、救助した船の名前がジョン・ハウランド号だったことも知っておられるに違いありません。

しかしながら、そういう方々も、この船名の由来までは知らないのではないのでしょうか。ジョン・ハウランドは、ジョン・カーヴァーという人物が1620年にメイフラワー号でアメリカに渡ってきた時の従者でした。ハウランドは、世界でもっとも幸運な男と考えられています。というのは、米国に向かうメイフラワー号が嵐にあった際、彼は船から転落するのですが、水中に漂っていたロープにつかまり、そのロープが船に括り付けてあったので、乗組員らに引き上げられたのです。

この出来事は、ウィリアム・ブラッドフォード氏が所蔵する「ザ・メイフラワー」航海日誌の原本に、次のように記されています。

恐ろしい風と高波という嵐の中、まったく航海できない状態で、乗客らは何日もデッキ下で過ごすことを余儀なくされていた。しかし、そんな暴風と激しい雨にもかかわらず、ジョン・ハウランドという若者が勇敢にもデッキに昇ってきた。すると突然、船が大きく揺れ、彼は船外へ投げ出されて海へ転落してしまった。しかし、神様のご加護だろうか、船尾に括り付けられ海を漂っていたロープにつかまることができた。しっかりと握りしめていたおかげで、一旦は海面から何メートルも沈んだものの、引っ張られて海面まで浮き上がり、なんとか船に取り付けられていたフックなどを使って船上に戻ることができたのだ。彼は一命を取り留め、少々体長を壊したものの、その後の人生では教会や地域の名士となり、長寿を全うした。

ジョン・ハウランドは1599年頃の生まれで、同じメイフラワー号に乗船していたエリザベス・ティレイと1624年に25歳で結婚しました。10人の子ども(4男6女)に恵まれ、全員が無事に成長しました。そのため、2人のブッシュユ元大統領を含め、ジョン・ハウランドの子孫は現在では何百万人を数えます。

ハウランドの長男もジョンと名づけられ、以後、ジョン・ハウランドという名前は1600年代から1800年代まで、マサチューセッツ州フェアハイブンの沿岸地域において、何代にもわたり活動的なビジネスマンの名前として受け継がれ



ロープにつかまりメイフラワー号に引っ張られるジョン・ハウランド
画：マイク・ヘイウッド（メイフラワー歴史協会）
<http://mayflowerhistory.com/howland>

ていきました。このハウランド家の名前は、今もまだ継承されています。フェアヘイブン在住で、隣町のニュー・ベッドフォードで警官を務めたジル・サイモン氏（現在は引退）は、彼女がまだ子どもだった1960年代、父親がジョン・ハウランド氏をメイフラワー号のハウランドの子孫だと紹介してくれたことを覚えていると話してくれました。

一方、フェアヘイブン観光協会理事のクリストファー・リチャード氏は、ジョン・ハウランドという船名は、おそらくフェアヘイブンで造船業にも携わっていたジョン・ハウランド船長（1776-1849）からとったのではないかと考えています。この船長の息子である1810年生まれのジョン・M・ハウランドは一時20隻もの船を共有しており、そのうちの1隻の船名はジョン・ハウランド号でした。



1990年代初頭、ジョン・H・ブライアンが墨とパステルで描いた総帆をあげた捕鯨船ジョン・ハウランド号。捕鯨のため太平洋を航行している図と思われる。

マサチューセッツ州フェアヘイブンのミリセント図書館所蔵

しかし、ミリセント図書館の文書係であるヴァイオレット・ハースト氏は、所蔵されている系譜によると、ハウランド船長と彼の息子は、ヘンリー・ハウランドの直系の子孫だということです。このヘンリー・ハウランドは、1633年にアメリカに渡ってきますが、メイフラワー号で最初にやってきたジョン・ハウランドの兄弟でした。フェアヘイブン近隣でジョン・ハウランドと名乗る人物のほとんどは、直接あるいは間接的にでも、メイフラワー号のロープで一命を留めた、あの幸運な男と系譜でつながっているのです。

捕鯨船ジョン・ハウランド号の物語は、1841年、フェアヘイブン出身の船長、ウィリアム・ホイットフィールドが、日本の南方の無人島に、食料用の亀を捕獲するために乗組員を向かわせたところからはじまりました。今は鳥島と呼ばれているこの島で、彼の乗組員達が発見したのは、難破の末にこの島に漂着して暮らしていた5人の日本人でした。そこに万次郎（後の中濱万次郎）という14歳の少年も含まれていたのです。

メイフラワー号でやってきた最初のジョン・ハウランドは、1672年に80代で亡くなりました。彼の数多くの子孫のうち、幾人かのアメリカ人らは「日米草の根交流サミット大会」に参加しています。ハウランドとともにメイフラワーでアメリカにやってきたリチャード・ワレン氏を介して、ジョン・ハウランドとは遠くても系譜でつながっています。ですので、ホイットフィールド家、ハウランド家、そして万次郎の中濱家との関係は1840年代から現在まで続いているのです。ウィリアム・ホイットフィールド船長の子孫たちは、日本の中濱万次郎の子孫と毎年会っています。この家族間の友情は1841年にまで遡り、国境を越えた2つの家族間の友情としては世界でもっと古いものでしょう。

ハウランド家、ホイットフィールド家、中濱家の友情の物語を継承するためにジョン・ハウランド号を復元しようと試みられたこともありました。この船の歴史は、2つの国と3つの家族が産み出した物語を象徴しているのです。もし、ジョン・ハウランド号に似た捕鯨船が建造され、あるいは現存する船を改造できるのであれば、両家の子孫たちがそれぞれの国の民間大使として、世界の平和を願い毎年交流していることを、人々に伝えるために活用できると思うのです。



2023年にオハイオ州コロンバスで再会した
ホイットフィールド家と中濱家

女性（左→右）：モーガン・ホイットフィールド、キャシー・ホイットフィールド、中濱京、中村文、中村明日香
男性（左→右）：クリスチャン・エヴェレット、ロバート・ホイットフィールド、スコット・ホイットフィールド、ワイアット・ホイットフィールド

ペリーの日米草の根交流

Perry's Japan America Grassroots Exchange



ペリー提督を先祖に持つ私の、草の根の日本文化体験を記録したブログ

◀ [こちらからぜひご覧ください。](#)

CIE-US理事マシュー・ペリー氏のブログでは、ペリー家や草の根交流サミットにまつわる話が掲載されています。



日米草の根交流サミット紹介 & 和歌山大会参加者募集活動

2024
4/13~14



さくら祭りマスコット
さくらちゃん

第62回 さくら祭り

ジャパニーズ・ストリート・フェスティバル in ワシントン D.C.

毎年春になると、米国の首都ワシントン D.C. の中心部を流れるポトマック川岸には、112年前に日本から送られた桜が見事に咲き誇り、日米友好の象徴として市民たちの想いを寄せています。今年は3月中旬に見頃を迎え、日本のニュースでも話題となりました。

桜が咲く毎年3月から4月にかけて、ワシントン D.C. で開催される世界的に有名な「全米さくら祭り (National Cherry Blossom Festival)」のクライマックスが、ワシントン D.C. 日米協会主催の桜祭りジャパニーズ・ストリート・フェスティバル IN ワシントン D.C. です。今年は62回目を迎え、ワシントン DC の中心部で開催されたこの2日間のイベントには35,000人が訪れました。連邦議会議事堂の目の前に延びるペンシルベニア・アベニューを大胆に封鎖した路上では、食べ物の屋台やアニメスタンドなど、日本の文化や最先端技術のデモンストレーション、パフォーマンス、物販、文化・芸術体験、試食・試飲会などが披露されました。

その会場で、CIE・CIE-US と NAJAS (全米日米協会連合) は共同ブースを設置し、和歌山大会の紹介と共にCIE、CIE-USおよび日米協会のそれぞれの活動紹介を行いました。多くの来訪者が私たちの活動に興味や賛同を示したと同時に、和歌山を訪れたことがある人たちもいて、和歌山の自然や文化、地元の特産品を堪能したという声も多く聞かれました。また、ブースに並べられた「ジョン万次郎」の本を見つけた近隣在住の日本人は、彼の功績はもっと知られるべきだと、CIEの活動にエールを送ってくれました。

さくら祭り開催直前の10日には、岸田首相もポトマック川を訪れ、2026年に建国250周年を迎える米国のさらなる発展と日米の絆の一層の強化を祈念し、250本の桜の寄贈を表明しました。

2026年のアメリカ建国250年には、日米草の根交流サミットでも日米友好と絆を盛大にお祝いしましょう！



山田重夫駐米日本大使が
ブースにご訪問くださいました



CIE 理事ジム・ギャノンが応援に



チーム CIE・CIE-US & NAJAS
無事にミッション終了

万次郎関連団体情報

「第9回ジョン万次郎英語弁論大会」参加者募集受付開始

土佐ジョン万会では、全国の中学生と高校生を対象に「ジョン万次郎英語弁論大会」を開催しています。180年以上前、遭難という予期せぬ出来事にも、決して諦めずに立ち向かい、未来を切り開いたジョン万次郎のように、自分の夢に向かって挑戦し続ける「ジョン万スピリッツ」を掲げ、後に続く青少年たちの夢を広げ、21世紀に活躍するグローバルな人材を育てることを目的とする活動です。



Check!

アジア・太平洋諸島系米国人の文化遺産継承月間

Asian American and Pacific Islander Heritage (AAPI月間)

米国では、5月は「アジア・太平洋諸島系米国人の文化遺産継承月間」です。1843年5月7日に最初の日本人移民が米国に到着したこと、また1869年5月10日に大陸横断鉄道が完成したことを記念して1990年に制定されました(全米人文学基金 HP より)。この時期、全米各地では歴史・教育・文化に関するさまざまなコミュニティイベントが開催され、建築、芸能、スポーツ、教育、芸術、科学などの分野で活躍するアジア系米国人の業績がたたえられます。

この記事を準備している間にも、ドジャーズに移籍した大谷翔平選手の活躍を讃え、限定的ではありますが、ロサンゼルス議会で17日を「大谷翔平の日」と制定されたとニュースで報じられました。

ところで、「1843年5月7日に最初の日本人移民 (immigrant) が米国に到着した」人物とは、紛れもなく「ジョン・万次郎」のこと。しかし、最初の日本人「移民」と解釈されていることに違和感が残ります。この解釈については、捕鯨船の船長、ウィリアム・ホイットフィールドにより救助され、養子としてフェアヘイブンに到着したことよりも、その後万次郎が日本に戻り、武士となり、日本の開国とその後の日米両国の友好に大きな影響力を持ったと紹介されています。そのため、万次郎は米国への最初の日本人移民、さらには米国初の駐日大使とも呼ばれています。その根拠の一つとして、1918年7月4日、石井駐米日本大使が万次郎の長男東一郎より預かった万次郎の刀をフェアヘイブンに贈呈した際の式典を記録したパンフレットの中で、マサチューセッツ州のクーリッジ知事も「彼(万次郎)は日本政府への最初のアメリカ大使であった」とスピーチされました。

参考: ミリセント図書館 <https://millicentlibrary.org/NakahamaManjiro>

全米人文学基金 <https://edsitement.neh.gov/closer-readings/asian-pacific-heritage-month>



ロサンゼルス市リトルトーキョーにある都ホテルの壁画。このホテルの前には「全米日系アメリカ人博物館」があり、まもなく和歌山県立近代美術館と姉妹提携される予定。



the dangers of the voyage, and the greater dangers that awaited an absentee from his country under the then existing laws, to perform his duty to his mother and to his native land. In making that return I think we are entitled to say that he was the first ambassador of America to the court of Japan, for his extraordinary experience soon brought him into association with the highest officials of his country, and his presence there prepared the way for the friendly reception which was given to Commodore Perry when he was sent to Japan to open relations between

■ 日 時: 2024年8月24日(土)

■ 申込締切: 8月8日(木) 必着

■ 場 所: 高知県人権啓発センター 6階ホール

■ お問い合わせ: 土佐ジョン万会事務局 (担当: 川村)
〒780-0952 高知市塚ノ原 37番地
TEL : 088-843-6007
E-mail: tosa@johnmung.org

■ 募集要項: <https://johnmung.org>

詳細はこちらから!



John Mung English Oratorical Contest

第9回 ジョン万次郎 英語弁論大会

議題: 下記のテーマを基に、弁論をしていただきます。
(新設時間:5分以内)

「私が思う、ジョン万次郎」
*ジョン万次郎が得た知識や、夢に向かって進んでいく
彼の姿が今の学生にとって、早稲田が誇るジョン万次郎を
英語にて表現していただきます。

2024 **8/24** SAT

場 所 / (公財)高知県人権啓発センター
6階ホール
高知市本町4丁目1番37号

入場料 / 無 料
日 程 / 中学生の部 / 10:00~12:00
高校生の部 / 13:00~15:00
表 彰 式 / 16:00~

参加者募集!
応募締切
8月8日(木)
必着

主催: 土佐ジョン万会事務局(土佐市) 高知市人権啓発センター(高知市)
協賛: NPO法人高知市国際交流協会(高知市) 高知市国際交流協会(高知市)
後援: NPO法人高知市国際交流協会(高知市) 高知市国際交流協会(高知市)
協賛: 高知市国際交流協会(高知市) 高知市国際交流協会(高知市)
協賛: 高知市国際交流協会(高知市) 高知市国際交流協会(高知市)
協賛: 高知市国際交流協会(高知市) 高知市国際交流協会(高知市)

第32回日米草の根交流サミット2025 開催地決定!

サンフランシスコ&ベイエリア

お待たせしました! 来年のサミット大会の開催地が、サンフランシスコ & ベイエリアに決定しました。

この地域でのサミット大会開催は2回目! 2010年以来、15年ぶりのサンフランシスコでの開催です。受け入れ団体の北カリフォルニア日米協会設立120年を迎える記念となる2025年を、サンフランシスコの皆さんと一緒に祝いましょう!

■ 共催: 北カリフォルニア日米協会、CIE-US、NAJAS

■ 会期: 未定(6月~9月頃調整中)

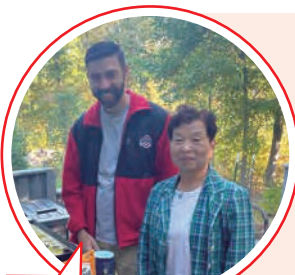
■ 詳細は後日発表



オハイオ大会参加者の声 Part.2



事務局に寄せられたオハイオ大会の感想を続々ご紹介。和歌山大会にはオハイオ大会のホストファミリーやスタッフも参加します。



山本雅代さん

地域分科会:
メリーズビル

ホストファミリー:
Alayna Haynam さん

4年前にホストを引き受けたのがきっかけで、CIEの活動を知りました。何よりも、180年以上もの長い間、5代目・6代目と代々交流が引き継がれてきたことに、驚嘆しました。4年前のゲストから、ぜひ参加してサミット後、バージニアの彼女の家に来るようにと誘いがあり、初めてサミットに参加しました。

ホストファミリーは、まるで息子家族のようで、3人の子どもはグランマと呼んで懐いてくれ、別れるときは泣いて別れを惜しんでくれました。

敷地は6エーカーもあり、林の中に家があり、ログハウス・アスレチック・ジャングルジム・鶏小屋・焚火の設備などもあり、大自然の中の大らかな生活様式に感動しました。家の中の冷蔵庫・オープン・食洗器なども、我が家の4倍ぐらいの大きさと、スケールの大きさにも驚きました。

父親は、ホンダにお勤めで、日本勤務の希望を持たれています。その夢がかなって、日本で再会できることを願っています。また、兵庫大会以来のバージニアの友人と和歌山大会で、再会します。

初参加のオハイオサミット&ボストン・フェアヘイブンコースは想像を優に超える素晴らしい体験の数々でした。

オハイオではネイティブアメリカンの現状や世代を繋ぐことの大変さを学ぶ一方、デラウェア分科会ではより良い市民生活、労働環境を目指した先進的な取り組みなど、見習いたいことが多々ありました。また、ウェスリン大学訪問時、学生によるわかりやすいキャンパス案内は、彼のボランティア精神、先生達との信頼関係や大学への愛着を感じる清々しいひとときでした。ホストファミリー宅では、日本旅行時に娘さんが買った着物の着付けや、近くの自然豊かな公園の散歩、かぼちゃ祭りでアイスと一緒に

頬張るなど、交流を楽しみました。

フェアヘイブンでは、ルーニーご夫妻の熱意あふれる案内で万次郎が通った小学校や図書館を巡り、船長のお墓で、万次郎を育ててくれた船長に心からの感謝を献げるという長年の夢が叶いました。更にペリーさん宅での茶話会も、かつてのニューイングランドの歴史や文化を知る貴重な機会でした。ゴードンさんの建てた素敵な家でミートローフの手料理、ナンシーさんとは話が尽きず、短くも居心地良く過ごさせていただきました。

このような素晴らしい企画、準備を進めてくださった全ての方々に心から感謝いたします。本当にありがとうございました。



川端和子さん

地域分科会:
デラウェア

ホストファミリー:
Dustin Henthorne さん
(Ohio)
Gordon & Nancy Hawes さん
(Fairhaven)

Japanese Hospitality Wherever You Fly



寄附協賛企業一覧 (五十音順) List of Corporate sponsors of CIE Japan



株式会社アイシン
AISIN CORPORATION



株式会社紀陽銀行
The Kiyo Bank, Ltd.



ダイキン工業株式会社
Daikin Industries, Ltd.



豊田合成株式会社
TOYODA GOSEI CO., LTD.



豊田通商株式会社
Toyota Tsusho Corporation



株式会社ニフコ
Nifco Inc.



富士通株式会社
Fujitsu Limited



株式会社三井住友銀行
Sumitomo Mitsui Banking
Corporation



公益財団法人森村豊明会
MORIMURA HOUMEIKAI FOUNDATION



愛知製鋼株式会社
AICHI STEEL CORPORATION



株式会社ジェイテクト
JTEKT CORPORATION



株式会社デンソー
DENSO CORPORATION



トヨタ自動車株式会社
TOYOTA MOTOR CORPORATION



トヨタファイナンシャル
サービス株式会社
TOYOTA FINANCIAL SERVICES
CORPORATION



日野自動車株式会社
Hino Motors, Ltd.



ブラザー工業株式会社
BROTHER INDUSTRIES, LTD.



株式会社宮本工業
MIYAMOTO INDUSTRY CO., LTD

北海道通信ビル株式会社
HokkaidoTsushinBldg Co.



株式会社オーハシテクニカ
Ohashi Technica, Inc.



全日本空輸株式会社
All Nippon Airways Co., Ltd.



株式会社ドトールコーヒー
Doutor Coffee Co., Ltd.



株式会社豊田自動織機
Toyota Industries Corporation



トヨタ紡織株式会社
TOYOTA BOSHOKU
CORPORATION



地球と手をつなぐ、電材カンパニー。
深田電機株式会社
FUKADA DENKI



三井住友海上火災保険株式会社
Mitsui Sumitomo Insurance Company, Limited



明治安田生命保険相互会社
Meiji Yasuda Life Insurance Company



公益財団法人ジョン万次郎ホイットフィールド記念
国際草の根交流センター

John Manjiro Whitfield Commemorative

Center for International Exchange

〒102-0083 東京都千代田区麹町 2-12-18 グランアクス麹町 602
TEL : 03-3511-7171 FAX : 03-3511-7175

GRAND AXE 602 2-12-18 Koujimach, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0083, Japan
TEL : +81-03-3511-7171 FAX : +81-03-3511-7175
Email : manjiro@manjiro.or.jp URL : http://www.manjiro.or.jp